



<Y-PORT 事業について>

横浜市 Y-PORT 事業では、市内企業と連携しながら、海外の都市課題解決に資する案件の発掘や事業化調査及び実証事業等を通じて、公民連携事業の形成に取り組んでいます。

1. メトロセブ都市開発フォーラムの開催報告

メトロセブにおける都市課題の共有と、横浜発の課題解決策を提案するため、2020年2月6日及び7日にフィリピン国セブ市において「メトロセブ都市開発フォーラム」を開催しました。

メトロセブ都市開発フォーラムの開催概要

<日程>

2020年2月6日(木)：フォーラム

2020年2月7日(金)：合同調査

(民間廃棄物処理業者の中間・埋立処理施設、商業施設の排水処理施設、セブ市・防災コマンドセンター)

<フォーラム開催場所>

フィリピン国セブ市 Citadines Cebu City 会議室

<テーマ>

- ① 廃棄物管理
- ② 水管理(上下水)
- ③ 防災

<参加者> 約 135 名

フィリピン中央省庁・州：環境天然資源省 (DENR)、貿易産業省 (DTI)、公共事業道路省 (DPWH)、観光省 (DOT) 等

メトロセブ行政機関等：自治体 (セブ市、マンガウエ市、ラブラブ市、タリサイ市、コルドバ市、コンポステラ市、サンフェルナンド市、カルカル市、ダナオ市)、メトロセブ開発調整委員会 (MCDCEB)、メトロセブ水道区 (MCDW) 等

フィリピン民間企業・団体：不動産ディベロッパー、ホテル、非営利団体等約 30 団体

日本側公的機関：横浜市 (国際局、環境創造局)、在フィリピン日本国大使館セブ領事事務所、独立行政法人国際協力機構 (JICA)、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO)

日本側市内企業等：12 社・団体 (50 音順)

NMB-Minebea Thai Ltd.、Minebea(Cambodia)Co.,Ltd.、環境エネルギー技術研究所 (株)、(株)グリーン、JFE エンジニアリング (株)、新明和工業 (株)、Taiheiyō Cement Philippines Inc.、日揮グローバル (株)、(株) 浜銀総合研究所、日之出産業 (株)、日立造船 (株)、(株) 三菱総合研究所、(株) 横浜カナサシテクノサービス、(株) カナサシテクノサービス

(1) フォーラム

① 廃棄物管理

午前に開催された全体会合では、マンガウエ市

から廃棄物管理行政の取組紹介がありました。同市では、家庭から排出されるごみの分別促進を目的として、市民啓発や小学校での教育等の取組が進んでいます。また、現地でリサイクル施設を運営している㈱グリーンより、マンドゥエ市から受入れている廃プラスチックのリサイクル事業が紹介されました。発表後にメトロセブ域内の全ての自治体を対象にした同社施設の見学会の案内があり、現地の行政関係者から多くの関心を集めました。2月11日には、3自治体（ダナオ市、セブ市、サンフェルナンド市）やホテル事業者やNGOが同社施設を訪問見学があり、メトロセブ域でのリサイクルの更なる推進が期待されます。

業制度は、メトロマニラにおける下水道事業で活用実績があり、現地関係者からも高い関心がありました。



メトロセブ水道区（MCWD）からの汚泥処理建設計画についての発表



廃プラスチックリサイクル事業の紹介



出典：JICA「フィリピン国メトロセブ水道区汚泥管理計画 準備調査報告書（先行公開版）（2019年）」
汚泥処理施設の完成予想図



グリーン・セブ工場（メトロセブ）

午後の水管理分科会では、天然資源環境省（DENR）から下水処理に関する課題について発表がありました。これに対して、市内企業等から以下のソリューションが提案されました。

- 省エネ・低騒音の水処理装置（新明和工業）
- マイクロバブルを活用した効率的な水処理システム（日之出産業）
- 浮体式海水淡水化施設等（日揮グローバル）

② 水管理（下水）

メトロセブ水道区（MCWD）からメトロセブの下水処理分野の課題について紹介があり、現在、国際協力機構（JICA）の支援のもと進められている汚泥処理施設の建設計画についての説明がありました。これに関連して、横浜市環境創造局より、本市がこれまでにメトロセブに対して行ってきた技術協力の実績を紹介しました。JICAからは、下水道事業で活用が期待される海外投融資 Private Sector Investment Finance（PSIF）の事業制度の紹介がありました。この事



水管理分科会でのディスカッションの様子

③ 防災

午後の防災分科会では、タリサイ市より交通管制・防災コマンドセンターの現状と課題について紹介がありました。また、横浜市国際局及び環境創造局より、防災計画と事業継続計画(BCP)の関係性及び横浜市の下水道事業に関するBCPの事例紹介を行いました。また、メトロセブが抱える課題に対して、市内企業等から以下のソリューションが提案されました。

- 街路灯を通じた通信インフラ整備 (NMB-Minebea Thai)
- 災害時の電力供給を可能にするソーラー発電、マイクログリッド (環境エネルギー技術研究所)
- 災害時の水供給を可能にする防火水槽 (横浜カナサテクニカルサービス/カナサテクノサービス)



横浜市環境創造局からの発表



防災分科会でのディスカッションの様子

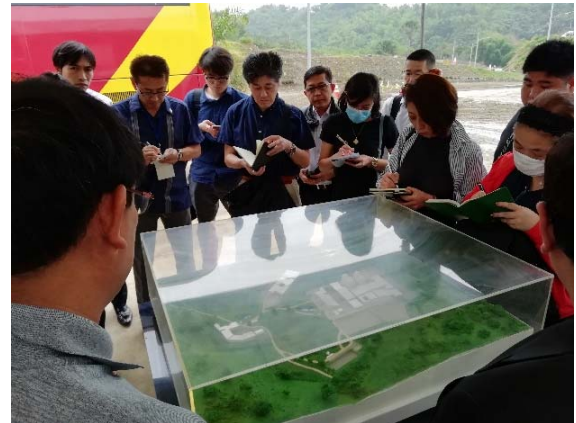
(2) 合同調査

フォーラム参加者が合同で、セブ市内の民営の廃棄物中間・埋立処理施設、複合商業施設の排水処理施設、セブ市防災コマンドセンター訪問し、各分野

における現状と課題を調査しました。各施設では管理者から施設概要について説明があり、市内企業等と処理方法等について技術的な意見交換が行われました。



フォーラム会場および排水施設の調査先商業施設(外観)



廃棄物の中間・埋立処理施設への訪問調査



セブ市防災コマンドセンターへの訪問調査

お問合せ先

横浜市国際局国際協力課

〒231-0015 横浜市中区尾上町 1-8

関内新井ビル 3階

Tel: 045-671-4396 Fax: 045-664-7145

E-mail: ki-yport@city.yokohama.jp